



懇話会だより

第1号

3月1日

生駒市教育委員会



はじめまして

この懇話会は生駒市が提案している生駒北小学校と生駒北中学校の施設一体型小中一貫校について、地域や保護者、教職員代表の皆様からご意見をいただくものです。高山地区の子どもたちのすこやかな成長を支援するため、教育環境を整備し、教育条件の充実を図っていきたくと考えています。

小中一貫教育の是非も含め、この懇話会での皆様のご意見を最大限尊重し、10月末をめどに結論をいただきたいと考えております。どうかよろしく願いいたします。

(早川教育長のあいさつより)

懇話会の出席者

小柳 和喜雄 (奈良教育大学教授)
中谷 辰幸 (生駒北小学校育友会副会長)
影林 保志 (生駒北中学校育友会会長)
森田 由紀 (打田・高船保護者代表)
藤堂 宏子 (ひかりが丘自治会会長)
窪田 博明 (久保自治会会長)
十文字 良明 (生駒北小学校長)
安達 光男 (生駒北中学校長)
井上 重樹 (生駒市校園長会会長)
富山 二郎 (生駒北小学校教諭)
政岡 俊伸 (生駒北中学校教諭)

小柳先生のお話から

小柳 (おやなぎ) 先生は、奈良教育大学教授として、長年にわたり、小中一貫教育実現のため、助言や支援活動を行われています。この懇話会で、先生に全国の小中一貫校の実態をお聞きするとともに、分からないところや疑問に思うところが出てきた時、適切なアドバイスをしていただけたいと思っています。小柳先生の研究については <http://oyanagi-lab.com/> で見るができます。



「北小と北中の一貫教育は、『縦のつながりの壁』と『教育方法の壁』を越えていくためのものです。しかし、これらの壁は子どもが本来乗り越えるべきものであり、そのために小中学校が同じ方針で指導することが大切です。」

縦のつながりの壁: 中学校の部活動などで見られる先輩と後輩の関係(「小学校の時は気軽に話せたのになあ〜」)

教育方法の壁: 先生が使う言葉や勉強の仕方の違い(「授業中難しい言葉が増えたなあ。」)

学級担任の先生がいつも教室にいてくれない、どうしよう・・・」



次回懇話会は3月19日(火)19:00から生駒北小学校多目的室で開催します。傍聴もできます。なお、懇話会の議事録は小中一貫教育懇話会のページ(<http://www.city.ikoma.lg.jp/kashitsu/15200/03/01.html>)にて公開しております。